

かれらは未来を信じた、そして切りひらいた

佐賀偉人伝

「佐賀偉人伝」は幕末明治期に活躍した佐賀の人物に

ついて紹介する全15冊(予定)のシリーズです。

A5判・112頁

全15冊予定(毎年度3冊程度×5年間(平成22、26年度))

平成23年度
3冊出版!



佐賀偉人伝 05

島 義勇

榎本洋介著 (札幌市文化資料室)

平成23年12月刊予定

ISBN978-4-905172-04-8

島義勇は、明治初期に開拓判官として北海道に入り、札幌を中心として都市を建設するために尽力しました。新政府はどのような目的で開拓使を設置し、旧佐賀藩主・鍋島直正を初代開拓長官に、島を判官に選任したのか、さらに北海道開拓における島の苦難と取組みについて検証します。

05

06 04



長崎大学附属図書館蔵

佐賀偉人伝 06

大木 喬任

重松 優著 (早稲田大学社会科学総合学院講師)

平成24年2月刊予定

ISBN978-4-905172-05-5

大木喬任は、明治前期のわが国の制度づくりにたずさわり、とくに初代文部卿として近代的教育の確立に力を尽くしました。深く歴史に学び、経世家として評価された大木の活動は、いまだ十分に明らかにされていません。新しい時代へむけて大木が抱いた構想と功績に切りこみます。



武雄市蔵

佐賀偉人伝 04

平山醇左衛門

川副義敦著 (武雄市図書館・歴史資料館副館長)

平成23年9月刊予定

ISBN978-4-905172-03-1

江戸末期に佐賀藩でいち早く導入された西洋砲術は、そのさがけとして武雄において、領主・鍋島茂義の指揮のもと推進されました。その最前線にあって当時最新鋭の技術導入に奮闘した平山醇左衛門は、突然の斬首という不可解な死を遂げました。歴史に埋もれた人物に光をあてます。

佐賀偉人伝

A 5判・112頁

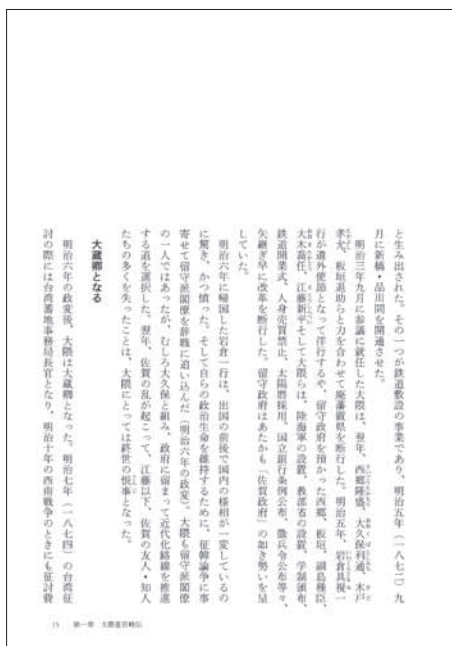
全15冊予定(毎年度3冊程度×5年間〈平成22～26年度〉)

電子書籍同時発刊

対象端末:iPad・パソコン・iPhone 価格:800円(税込)
電子書籍のご購入方法は、「佐賀偉人伝」ホームページ
(<http://sagajou.jp/sagaijinden/>) をご覧ください。



表紙イメージ



佐賀偉人伝 02『大隈重信』より

佐賀偉人伝 01 鍋島直正 杉谷 昭著

ISBN978-4-905172-00-0

既刊

佐賀藩が近代化をすすめるにあたって強力なリーダーシップを発揮したのが第10代藩主・鍋島直正(閑叟)です。本書は、鍋島直正が推進した“抜本的な改革”と“驚くべき挑戦”について、具体的な資料にもとづいて解説します。さらに、刻々と変化する幕末の政治状況下における鍋島直正の動向にも迫っています。



佐賀偉人伝 02 大隈重信 島 善高著

ISBN978-4-905172-01-7

既刊

不屈の政治家として生涯を貫き、早稲田大学の創設者としても知られる大隈重信。本書は、わが国はじめての政党内閣を成立させた政治家としての足跡や、教育へむけた理念などを中心に、大隈の生涯を解説します。日本の近代化に関わるさまざまな分野での活躍についても紹介する大隈案内の決定版です。



佐賀偉人伝 03 岡田三郎助 松本誠一著

ISBN978-4-905172-02-4

既刊

第1回文化勲章受章者である岡田三郎助は、美人画に独特の優美さをそなえ、「色彩の画家」と評されました。東京美術学校(現東京藝術大学)で教鞭を執り多くの洋画家を養成。画壇においては帝国美術院会員(のち帝国芸術院会員)、帝室技芸員として美術界を牽引しました。絵画作品のカラー図版も多数収録。



▼ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

- | | | |
|-----------|---|----|
| 04 平山醇左衛門 | (| 冊) |
| 05 島 義勇 | (| 冊) |
| 06 大木喬任 | (| 冊) |

- | | | | |
|----|----------|---|----|
| 既刊 | 01 鍋島直正 | (| 冊) |
| | 02 大隈重信 | (| 冊) |
| | 03 岡田三郎助 | (| 冊) |

上記内容を申し込みます。

ご住所 (〒 _____)

お名前 (フリガナ)

お電話番号

(_____) _____

取扱い店名	年 月 日